



南岩手杯全国民謡コンクールで優勝した  
佐々木ゆみ子さん (船越・47歳)

# 民謡通じ人の役に立てたら

「成績発表で自分の名前が呼ばれたときは、あまりの驚きにしばらく立てませんでした」と話す佐々木ゆみ子さん。六月二十五日に平泉町で行われた南岩手杯全国民謡コンクールで、初出場ながらも見事優勝に輝きました。

大会には全国から選ばれたのど自慢百五十人が参加。佐々木さんは「出場者は各種大会で優勝している実力者

「歌で慰問先のおじいちゃんやおばあちゃんに喜ばれたり、街でいろいろな人から『民謡頑張ってね』と声を掛けられたりと、民謡を通じて人と触れ合う機会が増えたことが楽しいです。少しでも皆さんの役に立てるんだ、と実感できることがうれいいですね」と笑顔で話します。

今後の抱負については「これからも皆さんに喜んでもらえるように、いろいろな大会で優勝目指して頑張ります」と意欲をのぞかせていました。

自ら所属する山田民謡伝承会（阿部實会長・会員十人）で介護施設などへ慰問に行くなど、社会福祉活動にも力を注ぐ佐々木さん。

## 鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会を設立

# 「善幸さん」の遺徳を後世に



7月2日に行われた総会の様子

「漁民宰相」として親しまれた元首相の故鈴木善幸さんを顕彰する会が設立され、その総会が七月二日、町中央公民館を会場に行われました。会場には設立の趣旨に賛同した沿岸市町村長や漁協関係者、町

内の各種団体の代表など六十人が出席しました。会に先立ち、準備会会長の沼崎喜一町長が「この事業は後世に善幸さんの遺徳を伝えるため、何としても成功させなければなりません」とおっしゃいます。皆さんのご支援をお願いしたい」とあいさつ。その後規約の制定や役員を選定し、沼崎町長が会長に選ばれました。

同会は生誕百年となる二〇一一年に鈴木善幸像と顕彰碑の建立、鈴木善幸記念館建設基金の積み立てを主な事業とし、資金として三千万円を目標に募金活動を展開していく予定となっています。

## 人権擁護委員に湊さんを再任



人権擁護委員に再任された湊多喜郎さん

北浜町の湊多喜郎さん(74)が、このほど人権擁護委員に再任され、法務大臣から7月1日付けで委嘱されました。任期は向こう3年間です。

人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないよう監視し、万が一侵害されたときは、救済のため適切な措置をとることを任務としています。

- ◆本町の人権擁護委員 ▶湊多喜郎 (☎82-5865) ▶吉田徳右エ門 (☎84-2549) ▶港安子 (☎84-2269) ▶田代省平 (☎82-2584) ▶内田真由美 (☎86-3292) 《敬称略》